

hana jewelryワークショップ

～廃棄プラスチックから作るサステナブルなアクセサリー～

日 時 令和7年7月17日(木) 10:00～12:00
場 所 愛知県産業資源循環協会 3階 会議室
参 加 者 女性部会員10名

女性部では、役目を終えリサイクル工場に運ばれてきた廃プラスチックを活用し、アクセサリーを制作・販売している「hana jewelry」より講師をお招きし、参加者の皆さまにアクセサリー作りのワークショップを体験していただきました。

永井愛会計の司会のもと、「hana jewelry」を運営している「有限会社愛知環境センター」の東久保翔平代表取締役は、「廃棄されるプラスチックの有効活用ということで、3年ほど前からスタートした hana jewelry ですが、SDGs の取り組みとして多くの方々に認知をいただけるようになってきました。今日は楽しみながらサステナブルなアクセサリー作りを体験してください。」とあいさつされました。

ワークショップでは、指輪、ピアス、イヤリングから選択して作品制作を行います。材料は廃プラスチックとは思えないほど色鮮やかでキラキラしており、参加者は目を輝かせながら、色や形状、素材もさまざまなプラスチックの中から、思い思いに材料を選んでいました。レジンで固めていく工程では、プラスチックの配置やレジンの注入に悪戦苦闘している場面もありました。それ



hana jewelry 講師
大森麻友子氏



(有)愛知環境センター
東久保翔平代表取締役



でも完成した作品はどれも素敵で、世界にひとつだけのアクセサリーに参加者の皆さんは大満足の様子でした。楽しみながらも、燃やされたり埋め立てられたりするのは廃プラスチックが、新たに価値を持つことを実感できる、サステナブルな取り組みとなりました。

閉会のあいさつで今津悠見副会長は、「私たちが取り扱っている廃プラスチックが、自分だけのオリジナルアクセサリーに生まれ変わる素晴らしい体験ができました。同じ業界の中でも、このように新しい視点でSDGsに取り組まれていることに感銘を受けました。私たちも視野を広げ、今後の活動に生かしていきたいと思います。」と述べられました。



制作風景



集合写真